

【 杵 築 市 】

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：国語）

1 調査結果の分析

小学校：国語

	全体	学習指導要領の内容					
		言葉の特徴や 使い方に 関する 事項	情報の扱い方 に関する 事項	我が国の言語 文化に 関する 事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
杵築市	69	62.1	89.2	78.4	62.5	73.7	71.6
大分県	69	65.7	87.6	76.9	60.6	70.4	73.8
全国	67.7	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7

◇全14問（選択式10問・短答式2問・記述式2問）であり、教科全体では全国平均を1.3ポイント上回り、県平均と同等であった。短答式・記述式問題形式については全国正答率62.1%であるのに対して杵築市65.7%と全国平均を上回っている。

□「話すこと・聞くこと」領域は全国平均を2.7ポイント上回っており、中でも「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する」（思考・判断・表現）は全国平均を5.0ポイント上回っている。

□「書くこと」領域は全国平均を5.3ポイント上回っており、中でも「目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」（思考・判断・表現）は全国平均を9.9ポイント上回っている。

■「言葉の特徴や使い方に
関する事項」領域の「学年別漢字
配当表に示されている漢字を
文の中で正しく使う」（知識・
技能）は全国平均を1.9
ポイント下回っている。

■「言葉の特徴や使い方に
関する事項」領域の「主語と
述語の関係を捉えること
ができる」（知識・技能）は
全国平均を4.6ポイント
下回っている。

□正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国より少ない。（市：1.5% 全国：4.7%）

□14問全てで、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が9問あり、自分の考えを持って粘り強く取り組んでいる。

2 具体的な改善方策

小学校：国語

① 「漢字を文の中で正しく使う」ことについては、今後も継続して漢字の持つ意味を考えながら使ったり、同音異義語に注意して使ったりする習慣を付ける。そのために、国語辞典や漢字辞典を活用して意味を調べたり同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習などを取り入れる。また、タブレット（AIドリルや漢字アプリ等）で既習の漢字を繰り返し学習し習得を図る。言語能力の育成は必須であり、読書活動の推進も図っていく。

② 国語科での言語活動において、自分の考えを書く活動を取り入れ、根拠をもとに説明させる等、表現させる学習を積み重ねてきた。話し合い活動を取り入れる際は、話し合う目的や意図を明確にしたうえで、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるよう、多様な表現を話し合いの中で用いることにより話し合いの質の向上を図っていく。

③ 主語と述語の関係については、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりする習慣をつける。また、「～が」「～は」のように主語の表し方は様々にあることに留意して指導していく。

④ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や家庭学習で取り組み、定着を図っていく。

【 杵 築 市 】

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（小学校：算数）

1 調査結果の分析

小学校：算数

	全体	学習指導要領の領域			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
杵築市	65	68.5	67.3	50.0	64.0
大分県	63	66.0	66.8	48.3	61.9
全国	63.5	66.0	66.3	51.7	61.8

◇全16問（選択式5問・短答式7問・記述式4問）であり、教科全体では全国平均を1.5ポイント、県平均を2.0ポイント上回った。短答式で全国正答率62.0%に対して杵築市62.2%、記述式で全国正答率50.9%に対して杵築市54.1%と、ともに全国平均を上回っている。

□「数と計算」領域は全国平均を2.5ポイント上回っており、中でも「問題場面の数量の関係を捉え、式に表す」（知識・技能）は全国平均を5.4ポイント上回っている。

□「データの活用」領域は全国平均を2.2ポイント上回っており、中でも「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりが無いように分類整理する」（知識・技能）は全国平均を5.1ポイント上回っている。

■「図形」の領域では、「球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す」（思考・判断・表現）は全国平均を3.0ポイント下回っている。

■「変化と関係」の領域では、「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる」（思考・判断・表現）は全国平均を7.1ポイント下回っている。

□正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国より少ない。（市：1.5% 全国：4.7%）

□16問中13問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が4問であった。

2 具体的な改善方策

小学校：算数

- ① 「数と計算」、「データの活用」については「問題場面を図や式に表す」ための指導の充実や、「グループでの話し合い活動」が効果的であったと思われる。今後も継続して取り組むことで一層の定着を図っていく。
- ② 「図形」領域では、直方体や、角柱を構成する要素について理解できている。半面、球の直径の長さ・円周の長さ・円周率の関係や、球の直径の長さが立方体の辺の長さに対応するという関係を捉えることができていないと考えられる。図形領域では、1人1台端末や、大型提示装置を有効活用し、視覚的に図形の間接関係を捉えることができるように指導していく。
- ③ 「変化と関係」領域では、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する場面において、2つの数量の間に着目し、その関係を用いることができていなかったと考えられる。問題場面を把握し、求めた速さを式に表すこと、道のりと時間と速さを図に示し、求めた速さが妥当か検討することができるように指導していく。
- ④ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や家庭学習で取り組み、定着を図っていく。

【 杵 築 市 】

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 調査結果の分析

中学校：国語

	全体	学習指導要領の内容					
		言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の言語 文化に関する 事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
杵築市	57	55.9	55.9	84.4	60.2	61.6	47.9
大分県	58	58.8	57.8	80.3	58.3	63.4	47.5
全国	58.1	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9

◇全15問（選択式9問・短答式3問・記述式3問）であり、教科全体では全国平均を1.1ポイント、県平均を1.0ポイント下回った。短答式・記述式問題形式については全国正答率53.7%であるのに対して杵築市54.1%と全国平均を上回っている。

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域は全国平均を3.3ポイント下回っているが、中でも「文脈に即して漢字を正しく書く」（知識・技能）で全国平均を5.1ポイント上回っている。

□「我が国の言語文化に関する事項」領域は全国平均を8.8ポイント上回っている。

■「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域の「文の成分の順序や照応について理解している」（知識・技能）は全国平均を8.3ポイント下回っている。

■「情報の扱い方に関する事項」領域の「意見と根拠など情報との関係について理解している」（知識・技能）で全国平均を6.6ポイント下回っている。

■正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国より多い。（市：8.1% 全国：7.6%）

□15問中11問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が6問であった。

2 具体的な改善方策

中学校：国語

- ① 「文脈に即して漢字を正しく書く」ことについては、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことができるよう指導したことの効果だと思われる。漢字を書く活動について、今後も継続して指導していく。
- ② 短答式・記述式問題については、各学校の授業改善による思考ツールの活用や、学び合いの場の設定が効果的であったと思われるため、今後も継続して取り組んでいく。
- ③ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、文の成分の順序や照応について理解する学習が不足していたことが考えられる。文節や単語などの意味を理解するにとどまらず、それが文章の中でどう使われているのかを授業の中で指導していく。
- ④ 「情報の扱い方に関する事項」については、他教科の中でも話し合い活動を意図的に仕組むなど活動の機会を増やしている。話し合いの中で、誰がどのような立場で意見を述べているのか、話し合いの話題や展開を捉えることができるよう指導していく。
- ⑤ 「書くこと」領域においては、文章を構成する力を指導していく必要がある。これは「文章の全体像をつかむ」読解にも繋がる。その為に、作文指導において、段落構成を考え、見通しを立てて書かせたり、書き方のモデルを提示し、書いた文章を互いに読み合わせたりして、文章の構成の工夫を考える活動に取り組みさせる必要がある。
- ⑥ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や週末課題（家庭学習）で取り組み、定着を図っていく。

【 杵 築 市 】

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（中学校：数学）

1 調査結果の分析

中学校：数学

	全体	学習指導要領の領域			
		数と式	図形	関数	データの活用
杵築市	49	47.1	33.2	57.5	53.8
大分県	50	49.4	36.5	59.5	52.8
全国	52.5	51.1	40.3	60.7	55.5

◇全16問（選択式5問・短答式6問・記述式5問）であり、教科全体では全国平均を3.5ポイント県平均を1.0ポイント下回った。短答式で全国正答率66.9%に対して杵築市64.7%、記述式で全国正答率29.3%に対して杵築市22.2%と、ともに全国平均を下回っている。

□「データの活用」領域の「簡単な場合について、確立を求めることができる」（知識・技能）は全国平均を4.3ポイント上回っている。

■「数と式」領域は全国平均を4.0ポイント下回っており、中でも「等式を目的に応じて変形することができる」（知識・技能）では全国平均を9.1ポイント下回っている。

■「図形」領域は全国平均を7.1ポイント下回っており、中でも「筋道を立てて考え、小計することができる」（思考・判断・表現）では全国平均を14.0ポイント下回っている。

■正答数3問以下（正答率20パーセント未満）の割合は全国より多い。（市：14.6% 全国：14.0%）

□16問中8問で、無解答率が全国値より低い。また、そのうち無回答率0%が4問であった。

2 具体的な改善方策

中学校：数学

- ① 「振り返り」の場面で、振り返りシートを活用することに引き続き取り組む。理解が不十分な生徒に対し個別に教材を用意し取り組ませることにより、学習内容の定着を図っていく。
- ② 「データの活用」については、データを読み取った上で、事柄が成り立つ理由を筋道立てて考える活動（ペア・グループ活動）が効果的であったと考えられる。1人1台端末や、大型提示装置を有効活用し、今後も継続し指導していく。
- ③ 「数と式」については、等式を目的に応じて変形する際に必要な等式の性質について理解したうえで、複数の性質を用いて変形することができるよう指導する必要がある。未知数を求めるためには、等式の変形は必須であり、過去の振り返りを扱いながら指導していく。
- ④ 「図形」については、三角形の外角が2つの内角の和に等しいことや、合同条件等、証明に用いる基礎的・基本的知識を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるように指導する必要がある。その際、1人1台端末や、大型提示装置を有効活用し、視覚的に生徒を支援することが大切である。
- ⑤ 上記の改善方策や1人1台端末の活用を取り入れた授業について、校内研究会や杵築市教育課程研究協議会の授業研究会において公開し、多くの教員が参観することによって、どの学校でも全ての生徒が考え表現する授業を実施できることを目指していく。
- ⑥ 課題が見られる問題については、類似した問題を用いながら補充学習や週末課題（家庭学習）で取り組み、定着を図っていく。

【 杵 築 市 】

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問）

1 調査結果の概要

児童質問

※数値は「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」等の肯定的回答の集計（%）

< 基本的な生活習慣等 >

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
1	朝食を毎日食べていますか	91.9→	93.7	-1.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.3↓	82.9	-1.6
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	88.9↓	91.6	-2.7
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、 家の人と約束したことを守っていますか	67.6	71.1	-3.5

< 自己有用感、規範意識等 >

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
9	自分には、よいところがあると思いますか	84.9↓	84.1	+0.8
10	先生は、あなたのよい所を認めてくれていると思いますか	94.5↑	89.9	+4.6
11	将来の夢や目標を持っていますか	90.3↑	82.4	+7.9
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5↑	96.7	+0.8
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	88.3↑	84.8	+3.5

< 学習習慣等 >

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり どれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）	46.4↓	54.6	-8.2
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらい の時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）	45.4↓	48.6	-3.2

< ICT を活用した学習状況 >

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
4	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり どれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強 のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） ※1時間以上の割合	20.7↓	19.8	+0.9
27	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機 器を、どの程度使用しましたか（週3回以上）	45.0↓	59.5	-14.5

<地域や社会に関わる活動の状況等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	91.9↑	83.5	+8.4

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
29	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	79.7↑	67.6	+12.1
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.3↓	81.9	-0.6
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	84.9↑	80.8	+4.1

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
42	国語の勉強は好きですか	67.2↑	62.0	+5.2
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	87.9→	86.3	+1.6
50	算数の勉強は好きですか	68.1↑	61.0	+7.1
52	算数の授業の内容はよく分かりますか	87.4↑	82.1	+5.3

↑は前年と比較し増 ↓は前年と比較し減 →は前年と同じ

生徒質問

※数値は「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」等の肯定的回答の集計 (%)

<基本的な生活習慣等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
1	朝食を毎日食べていますか	92.3↑	91.2	+1.1
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.4↓	80.7	+0.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.3↓	92.5	-0.2
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	62.0	72.2	-10.2

<自己有用感、規範意識等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
9	自分には、よいところがあると思いますか	81.9→	80.0	+1.9
10	先生は、あなたのよい所を認めてくれていると思いますか	93.7↑	90.4	+3.3
11	将来の夢や目標を持っていますか	72.4↑	66.3	+6.1
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.8↑	95.7	+1.1
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.2↑	83.8	+3.4

<学習習慣等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）	64.2↑	64.3	-0.1
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上の割合）	77.3↑	63.0	+14.3

<ICTを活用した学習状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
4	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） ※1時間以上の割合	14.0↓	16.6	-2.6
27	1・2年生の時受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（週3回以上）	71.1→	64.4	+6.7

<地域や社会に関わる活動の状況等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	91.9↑	83.5	+8.4

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
29	1・2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.7↑	64.8	-5.1
30	1・2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.0↑	80.3	+0.7
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78.8↑	77.9	+0.9

<学習に対する興味・関心や授業の理解度等>

番号	質問事項	杵築市	全国	市と国の差
42	国語の勉強は好きですか	79.6↑	64.3	+15.3
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	87.8↑	82.7	+5.1
50	数学の勉強は好きですか	52.4↓	57.2	-4.8
52	数学の授業の内容はよく分かりますか	67.5↓	75.7	-8.2

↑は前年と比較し増 ↓は前年と比較し減 →は前年と同じ

2 杵築市の児童・生徒質問調査の結果をふまえて

「自立した学習者の育成」に向けて

(小・中学校共通)

- 基本的生活習慣等の確立を図る。
 - ・家庭と学校で連携した基本的な生活習慣の確立。
 - ・スマートフォンやタブレット，ゲームの約束について家庭で話す場の設定。
- 児童生徒の学習意欲の向上を図る。
 - ・自己肯定感や教科愛好度の維持向上。
 - ・「教師主導の学び」から伴走者的な役割への転換。
 - ・基礎・基本のさらなる定着。(低学力層の児童生徒への支援の工夫)
 - ・発達段階に応じた自主学習・家庭学習の取組の推進及び家庭学習の点検による進路指導計画に沿った指導・助言の充実。
 - ・自分の考えを広げたり，深めたりする話し合い活動の推進。
 - ・学習で得た知識や技能を活用する，教科横断的な発想と実践。
 - ・1人1台端末を効果的に活用した授業づくりの推進。
- 読書への興味・関心の向上を図る。
 - ・授業における学校図書館の活用，辞書の活用等の取組の推進。
- 地域や社会への興味・関心を深める。
 - ・地域教材や地域人材の活用。
- 安心できる学校生活の構築と自尊意識の向上を図る。
 - ・校内での相談体制の再確認と，SC・SSW等の活用推進。
 - ・生徒指導の3機能を生かした授業づくり。
 - ・人間関係づくりプログラムの充実による日常生活の絆づくり。

(小学校)

- ・子どもたちが見通しを持って学び，「できる」「わかる」を味わうことができる授業の創造。
- ・1単位時間の授業や単元を通した学習内容について，他者と協働して得た意見を踏まえた「振り返り」の充実。
- ・各自に目標を持たせ，時間や回数，ペース等取り組み方の工夫の推進。
- ・「集会」や「ふるさと発見学習」を設定。めあて・実行・振り返りのサイクルを大切にして知恵を出し合いながらの取組を図る。

(中学校)

- ・教科の特性に応じたノート(ワークシート)づくりや「まとめ・振り返り」の日常化及び教科部会で検証改善する取組の推進。
- ・主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり，学習したことを振り返ったりする場面設定の推進。
- ・自分の考えを発表し他者と広げたり，深めたりする場面設定の推進。

【 杵 築 市 】

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問）

1 調査結果の概要

※数値は「そのとおりだと思う・どちらかといえば、そう思う」等の肯定的回答の集計（%）（ ）は全国の数値

小学校：学校質問

<自己有用感，達成感等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
7	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100 (85.5)
31	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれの良さを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	100 (94.5)
37	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	100 (94.2)
38	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今努力すべきことを学級の話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	100 (92.6)

<学校運営／教職員の資質能力の向上に関する取組状況に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
11	I C Tを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	100 (99.1)
13	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立していますか	100 (97.0)
14	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	100 (97.3)
16	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	100 (98.6)
17	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	100 (90.0)

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
25	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	90.0 (88.2)
34	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	90.0 (87.4)

<ICTを活用した学習に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
53	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか（週3回以上の割合）	100 (92.9)
56	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか（週3回以上の割合）	100 (93.2)

<小学校教育と中学校教育の連携に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
68	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取り組みをどの程度行いましたか	30.0 (64.0)

<家庭や地域との連携等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
70	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	100 (88.9)

<家庭学習>

番号	質問事項	学校質問紙回答
71	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	100 (96.1)
73	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	90.0 (87.8)

中学校：学校質問

<自己有用感，達成感等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
7	調査対象学年の生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか	100 (93.8)
31	調査対象学年の生徒に対して，前年度までに，学習指導において，生徒が，それぞれの良さを生かしながら，他者と情報交換して話し合ったり，異なる視点から考えたり，協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	100 (94.0)
37	調査対象学年の生徒に対して，学級生活をよりよくするために，学級活動で話し合い，互いの意見の良さを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	100 (96.1)
38	調査対象学年の生徒に対して，学級活動の授業を通して，今努力すべきことを学級の話し合いを生かして，一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	100 (92.4)

<学校運営／教職員の資質能力の向上に関する取組状況に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
11	I C Tを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	100 (98.5)
13	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立していますか	100 (96.5)
14	指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	100 (91.8)
16	授業研究や事例研究等，実践的な研修を行っていますか	100 (94.8)
17	生徒自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	66.7 (85.7)

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
25	調査対象学年の生徒は，授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組むことができていると思いますか	100 (88.4)
34	調査対象学年の生徒に対して，前年度までに，習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	66.7 (86.6)

<ICTを活用した学習に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
57	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか（週3回以上の割合）	100 (91.9)
60	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか（週3回以上の割合）	100 (90.8)

<小学校教育と中学校教育の連携に関する取組状況>

番号	質問事項	学校質問紙回答
72	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取り組みをどの程度行いましたか	33.3 (69.0)

<家庭や地域との連携等>

番号	質問事項	学校質問紙回答
74	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	100 (84.1)

<家庭学習>

番号	質問事項	学校質問紙回答
75	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	100 (91.9)
77	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか	100 (82.8)

2 杵築市の学校質問調査の結果をふまえて

- 市内小中学校の児童生徒は、概ね落ち着いた生活を送ることができている。また、市内小中学校では、児童生徒がそれぞれの良さを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、解決方法等を合意形成したり、一人一人が意思決定したりする自己存在感を感じることができる取組が図られている。引き続き、児童生徒が安心して学習や生活を行うことができる組織的な校内体制づくりに取り組む。
- 各学校において、学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。校長のリーダーシップのもと、学校運営及び組織全体で行う教職員の資質向上に関する取組を今後も推進していく。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善が推進されている。日々の授業において、「新大分スタンダード」を意識した単元構想による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業研究や事例研究等、実践的な研修に取り組んだり、授業力向上アドバイザーを効果的に活用したりする等、引き続き授業改善を推進する。
- 小学校と中学校の連携については、中学校区での各種学力調査等の成果と課題の共有を行うことができている。教務主任会議で中学校区ごとにめざす児童生徒像や、育成を目指す資質・能力を共有したり、校種を超えた公開授業への参加を積極的に呼びかけたりする等、小中連携の取組を推進する。
- ◇家庭学習については、学校と家庭が連携し、児童生徒の主体的な家庭学習の充実を図る取組が進められている。しかし、児童生徒の意識と差が生じていることから、本市が目指す自立した学習者の育成に向け、今後も家庭学習についての指導が効果的に進められるよう、教科書の二次元コードや、AIドリル等、1人1台端末を有効活用し、児童生徒の実態に応じた家庭学習の取組を継続していく。
- ◇本時で具体的な評価規準を設定し、努力を要する状況の児童生徒への具体的な手立てを講じた授業を推進する。
- ◇学校・家庭・地域が目標の達成に向けて協働する学校運営協議会の取組を推進する。
- ◇タブレットなどのICT機器の活用が進んでいるものの、サポート体制に課題がある。専門スタッフ（教員を除く）の配置を継続し学校へのサポート体制を整えるとともに、通信速度の向上や、公衆送信補償協会への加入など、さらなる環境整備を進める。